

保育所及び認定こども園における自己評価

本年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育・教育に活かせる方向で記入して下さい。

・ A B C Dの4段階評価です。該当する欄に○を付けてください

A : たいへんよい
B : よい
C : 一部検討を要する
D : 改善を要する

保育所・こども園名【 福知山認定こども園 】

自己評価の観点	前年度の 評価	本年度 の評価
1. 園の保育理念・保育方針・保育目標の理解について		
① 会の保育理念、園の保育方針・保育目標を理解し、かつ課題を共有している	A	A
評価の根拠 ・保育理念、保育方針を理解した上で、自己目標の中に取り込み、一人ひとりが目標として取り組んでいる。 今後の改善・充実 ・保護者への理解を深める。節目ごとに振り返り評価を行い、更に意識を高めていく。		
2. 保育について		
① 一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている	A	A
② 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定している	A	A
③ 評価、資料（諸記録）を集積している	A	A
④ 園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるよう配慮している	A	A
⑤ 気候や子どもの活動にあわせ、温度・湿度・換気、照度など配慮している	A	A
⑥ 季節の草花などを飾るなど、保育の中で子どもが季節感を感じるように配慮を行っている	A	A
⑦ 子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができています	A	A
⑧ それぞれの子どもに関する必要な情報を共有している	A	A
⑨ 保育についての話し合いをよくしている	A	A
⑩ 保育士自身が楽しんで保育をしている	B	A
⑪ それぞれの役割を把握し、適切な動きができています	A	A
評価の根拠 ・子ども一人ひとりの発達や個性、背景を共有し保育を行なっている。子どもの関心、興味に寄り添った環境内容にしている。 今後の改善・充実 ・子どもの意欲を高められるような保育内容を考えると共に、保育者自身も楽しんで保育ができるようにする。		
3. 健康管理について		
① 日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心がけている	A	A
② 玩具、遊具等については、常に衛生的に保持している	A	A
③ 乳幼児突然死症候群（SIDS）や感染症等の予防の対策やマニュアルが用意されている	A	A
評価の根拠 ・健康カードを用いて、家庭とも健康状態について連携をとり、一人ひとりの体調に合わせ活動場所や活動の設定に配慮している。 今後の改善・充実 ・マニュアルの理解につとめ、新しい情報も周知、共有できるようにする。		
4. 行事について		
① 行事の種類や実施回数は適切である	A	A
② 行事のねらいを計画や実施に十分生かしている	A	A
評価の根拠 ・コロナ禍の中でも換気を行う。人数制限を行う。時間を区切る等。実施できるように工夫をし職員間で相談しながら計画を立てられた。 今後の改善・充実 ・状況に合わせた行動計画を立て、ねらい、内容を共通認識し進めていく。		
5. 食育について		
① 食育を通して子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している	A	A
② 旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	A	A
③ 調理担当者と子どものコミュニケーションが図られるようにしている	B	A
評価の根拠 ・畑、プランターで野菜を栽培し、食への関心を高めている。月に一度保育者と調理員とで給食会議を行い食育について話す場がある。また、常日頃から意見交換をしている。 今後の改善・充実 ・調理員と子どものコミュニケーションを更に活発にする。保育者との連携を深め、食育の内容を充実させる。		
6. 運営について		
① 園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある。	A	A
② 各種会議を適切かつ効率的に進めている	A	A
③ 打合せ回数、時間、内容は適切である	A	A
評価の根拠 ・小規模のグループ会議を行うことで時間も短時間にし、充実した内容で行われている。また各担当が責任を持ち各会議を進め全体への周知まで行っている。 今後の改善・充実 ・効率的に会議が進むようにし、より充実した内容にしていく。		

自己評価の観点	前年度の 評価	本年度 の評価
7. 保健・安全指導について		
① 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じている	A	A
② 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している	A	A
③ 事故や災害に適応できるマニュアルをすぐに見ることができるようにしている	A	A
④ 廊下に落ちているものを拾ったり、トイレのスリッパを揃えたり意識している	A	A
⑤ 室内の衛生、クラス廻りの清掃に心がけ気持ち良い環境に心がけている	A	A
<p>評価の根拠 ・定期的に点検、清掃を行っている。月に一度必ずヒヤリハットを共有し、また安全推進会議も行っており、安全衛生の意識を高めている。</p> <p>今後の改善・充実 ・避難訓練においてはどのような状況でもその場に応じた対応、判断ができるようにする。</p>		
8. 研修・研究について		
① 実践研究に取り組み、日常の保育に生かし、子どもの育ちに反映させている	A	A
② 部内・部外研修への参加態勢の充実を図っている	A	A
③ 研修報告を園内で実施している	A	A
<p>評価の根拠 ・職員会議内で重要ポイントに絞った研修報告を行い、全体へ周知している。セミナー保育実践を職員全員で意識をして取り組み学習している。</p> <p>今後の改善・充実 ・セミナーや園内研修で学んだことを実践していく。</p>		
9. 情報について		
① 園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している	A	A
② 園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している	A	A
③ 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理している	A	A
<p>評価の根拠 ・記録は鍵のかかるところで厳重に保管し守秘義務も徹底されている。</p> <p>今後の改善・充実 ・表簿がコドモンに変わるため、使いこなしていくことが改善、充実につながる。</p>		
10. 設備について		
① 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている	A	A
② 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している	A	A
<p>評価の根拠 ・安全点検は月に一度行っている。掲示板は子どもの様子を毎日書き、情報の発信ツールとして活用している。記入の際は文字の色を変える、枠を作るなどの工夫をして見やすくなるようにしている。</p> <p>今後の改善・充実 ・効果的な掲示方法を考え更にわかりやすく見やすくなるようにする。</p>		
11. 保護者支援について		
① 子どもの送迎時に子どもの様子を伝えあうようにしている	A	B
② クラス懇談や個別懇談を行っている	A	B
③ 入園説明会やクラスごとの懇談会などでは保育内容や目的をわかりやすく説明し、情報提供を行っている	A	A
④ 保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている	A	B
<p>評価の根拠 ・今年度はコロナ禍で保護者の園内への立入りに制限をかけ、送迎や行事の体制にも配慮が必要だったが、個別の連絡ノートを詳しく記入したり、掲示板を用いて毎日の子どもの様子を最大限に知らせたりする努力をした。</p> <p>今後の改善・充実 ・子どもの様子を具体的に知らせることを更に充実させ、安心してもらえるように努める。状況に応じて行事内容を検討し実施できるようにする。</p>		
12. 開かれた保育所づくりについて		
① 園庭や保育室等を、地域の子育て親子等に解放している	A	B
② 職員による育児に係る「子育て相談」は充実している	A	A
③ 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している	A	A
④ 中高生の職場体験や実習生の受入を体制について、その意義や方針を全職員が理解している	A	A
⑤ 来客や地域の方に明るく挨拶をしている	A	A
<p>評価の根拠 ・医療機関や専門機関と常に連携を取り合っている。今年度はコロナ禍で園庭開放を行えなかったが、人数制限をして一時保育を受け入れる努力をしている。</p> <p>今後の改善・充実 ・コロナ禍の中で何ができるか検討する。</p>		
13. 情報発信について		
① えんだより、すこやかねつと等で、情報発信に努めている	A	A
② 行事や子育て支援等を、地域や小学校等に対して周知している	A	A
<p>評価の根拠 ・できるだけ毎日ブログを更新し、子どもの様子や園のお知らせ等、情報発信している。月に一度、地域の会議に参加し小学校や隣保館へ園の様子を発信している。</p> <p>今後の改善・充実 ・コドモンの導入で地域への情報発信の工夫をしていく。</p>		